

# 警察官 (I 類) 教養試験問題

平成 25 年 1 月 13 日 (日) 実施

※ 指示があるまで開いてはいけません。

**【注意事項】**

- 1 問題は全部で 50 題、26 ページです。時間は 2 時間です。
- 2 乱丁、落丁があれば、申し出てください。
- 3 解答用紙の記入方法は次のとおりです。
  - (1) 組番号、試験区分、受験番号はあらかじめ記入・マークされていますので、誤りがな  
いか確認してください。
  - (2) 受付番号を正しく記入し、該当する番号の○を HB の鉛筆又はシャープペンシルで黒  
く塗りつぶしてください。

【例】 3 組、試験区分男性警察官 I 類、受験番号 123 番、受付番号 654 番の受験者は、  
下記ようになります。

	0	0	3
	番号		
組 番 号	● ● ○		
	① ① ①		
	② ② ②		
	③ ③ ●		
	④ ④ ④		
	⑤ ⑤ ⑤		
	⑥ ⑥ ⑥		
	⑦ ⑦ ⑦		
	⑧ ⑧ ⑧		
	⑨ ⑨ ⑨		

	I 類	
	試験区分	
警 察 官 男 性	I 類	●
	II 類	○
	III 類	○
警 察 官 女 性	I 類	○
	II 類	○
	III 類	○

	0	0	1	2	3
	受験番号				
	● ● ○ ○ ○				
	① ① ● ① ①				
	② ② ② ● ②				
	③ ③ ③ ③ ●				
	④ ④ ④ ④ ④				
	⑤ ⑤ ⑤ ⑤ ⑤				
	⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥				
	⑦ ⑦ ⑦ ⑦ ⑦				
	⑧ ⑧ ⑧ ⑧ ⑧				
	⑨ ⑨ ⑨ ⑨ ⑨				

	0	0	6	5	4
	受付番号				
	● ● ○ ○ ○				
	① ① ① ① ①				
	② ② ② ② ②				
	③ ③ ③ ③ ③				
	④ ④ ④ ④ ●				
	⑤ ⑤ ⑤ ● ⑤				
	⑥ ⑥ ● ⑥ ⑥				
	⑦ ⑦ ⑦ ⑦ ⑦				
	⑧ ⑧ ⑧ ⑧ ⑧				
	⑨ ⑨ ⑨ ⑨ ⑨				

- (3) 教養試験解答欄は、各問題の解答番号 1 から 5 のうち正しいと思う解答番号の○を  
HB の鉛筆又はシャープペンシルで黒く塗りつぶしてください。
  - (4) 各問題とも正解は一つですから、二つ以上塗ると誤りになります。
  - (5) 一旦記入してから書き直す場合は、消しゴムできれいに消してください。  
※ 砂消しゴムは絶対に使わないでください。
  - (6) 解答用紙にある注意事項をよく確認してください。
- 4 問題の計算などでメモをしたい場合は、問題用紙の余白を使ってください。
  - 5 試験時間中に問題集を切り取る、計算機を使用する、携帯電話を操作するなどの行為は、  
一切禁止します。
  - 6 試験終了後、この問題集は持ち帰ることができます。

[No. 1] 日本国憲法第 14 条（法の下での平等）に関する記述として、妥当なのはどれか。

- (1) 第 14 条 1 項後段は「人種」についての差別を禁止するものなので、法律における外国人に対する取り扱いの区別は同条項に反し許されない。
- (2) 第 14 条 1 項後段は「信条」についての差別を禁止するものであるが、信条だけではなくそれに基づく行為も含めて問題になる場合には、その行為について解雇等の事由とされても直ちに信条による差別とはいえない。
- (3) 第 14 条 1 項後段は「性別」についての差別を禁止するものであるが、国が法的取り扱いに区別を設けることを禁止するものであり、企業が就業規則で女子であることのみを理由として会社の定年年齢を男子より低く設定することは差別に当たらないと解されている。
- (4) 第 14 条 1 項後段は「社会的身分」についての差別を禁止するものであるが、社会的身分の概念自体が一般的かつ抽象的で不明確なため、具体的な問題として議論することは不可能である。
- (5) 第 14 条 1 項後段は「門地」についての差別を禁止するものであるが、現在、皇族に認められる特別の地位は形式的にも門地にはあたらず、同条項に抵触しない。

[No. 2] 参議院に関する記述として、妥当なのはどれか。

- (1) 参議院議員に関して、任期が 6 年で 3 年ごとに議員の半数が改選されること、及び満 30 歳以上の者でなくてはならないという年齢要件が憲法で定められている。
- (2) 参議院議員は任期が 6 年であるという特性を生かし、参議院には、国政の基本事項に関し、長期的かつ総合的な調査を行うため、調査会を設けることができる。
- (3) 参議院の緊急集会は、衆議院の解散により衆議院議員が存在しない場合、及び衆議院の任期満了により衆議院議員が存在しない場合に開催されることが憲法で定められている。
- (4) 参議院の緊急集会は国会ではないので、国会の会期中国会議員に認められる不逮捕特権や免責特権は認められない。
- (5) 参議院議員の選挙は、全国を 11 ブロックに分けて行われる非拘束名簿式比例代表選挙と、各都道府県を単位とする選挙区選挙の二本立てで実施される。

[No. 3] ASEANとASEAN地域フォーラムに関する記述として、妥当なのはどれか。

- (1) ASEANは1967年に、経済・社会・文化などの交流を目的にタイ・インドネシア・マレーシア・フィリピン・シンガポールの5か国で発足した。
- (2) ASEANは発足後、ブルネイ・ベトナム・中国・韓国が加盟し、さらに1999年にカンボジアが加盟したことにより10か国となった。
- (3) ASEAN地域フォーラムはASEAN諸国に日本やEU等が参加する広域的な多国間協議の枠組みであるが、この枠組みにアメリカは不参加を表明している。
- (4) ASEAN地域フォーラムはいまだ設立協議段階であり、発足していない。
- (5) ASEAN地域フォーラムは各国の独立性を強く保障するものであるため、将来の東アジア共同体構想を否定するものである。

[No. 4] イギリスの政治体制に関する記述として、妥当なのはどれか。

- (1) イギリスの議会は、国民が直接選んだ議員からなる参議院と衆議院による二院制である。
- (2) イギリスでは、野党が政権の担当に備えた、「影の内閣」を組織することが慣例となっている。
- (3) イギリスの政党政治は、保守党が常に政権を担っているため、一党制の形態に分類される。
- (4) イギリスは大統領制の母国といわれており、大統領が強大な権限を有する。
- (5) イギリスの議会には、内閣不信任決議権が認められていない。

[No. 5] 銀行に100万円の現金預金があり、支払い準備率が10%の場合、理論上最終的に信用創造される額として、妥当なのはどれか。

- (1) 100万円
- (2) 200万円
- (3) 900万円
- (4) 1,000万円
- (5) 1,200万円

[No. 6] 次のA～Dは1980年代以降のわが国の経済に関する出来事であるが、古い順に並べたものとして、妥当なのはどれか。

- A ルーブル合意
- B 消費税の導入
- C プラザ合意
- D バブル経済の崩壊

- (1) C→B→A→D
- (2) C→B→D→A
- (3) C→A→B→D
- (4) D→C→A→B
- (5) D→A→C→B

[No. 7] 次の記述は科学技術に関する用語の説明であるが、該当する用語として、妥当なのはどれか。

発電設備から末端の機器までを通信網で接続し、電力流と情報流を統合的に管理することにより自動的な電力需給調整を可能とし、電力の需給バランスを最適化する仕組みのこと。

- (1) クラウドコンピューティング
- (2) スマートグリッド
- (3) ソーシャルメディア
- (4) デジタルサイネージ
- (5) ユビキタスネットワーク

[No. 8] 近年のわが国における食料事情に関する記述として、最も妥当なのはどれか。

- (1) 全国・二人以上の世帯における食料の消費水準指数の推移をみると、平成2年以降ほぼ一貫して上昇傾向にあり、平成23年も前年比で上昇を記録した。
- (2) わが国における家計消費支出に占める食料費の割合は、国際的な穀物価格の高騰等の影響から平成20年以降大幅な増加に転じた。
- (3) 消費者物価指数の推移をみると、総合的には低下傾向にあるものの、食料については平成20年度以降緩やかな上昇傾向を示している。
- (4) わが国の食料自給率を供給熱量ベースでみると、近年はほぼ40%前後で推移しているが、長期的には低下傾向にある。
- (5) 米粉用米・飼料用米を除く米について平成20年以降の推移をみると、作付面積は減少傾向にあるものの、生産量及び1人当たり消費量は一貫して増加している。

[No. 9] 近年の男女共同参画の状況に関する記述として、最も妥当なのはどれか。

- (1) 女性の5歳毎の年齢階級別労働力率はM字カーブを描いているが、平成23年においては25～29歳の年齢階級がM字部分の底となっている。
- (2) 産業別に就業者割合をみると、男女共に第3次産業の割合が高まってきているが、女性よりも男性においてその傾向が顕著に見られる。
- (3) 平成23年12月末現在、すべての都道府県議会において女性議員がおり、女性が知事及び政令指定都市長を務めている都道府県や政令指定都市がある。
- (4) 司法分野においても女性の割合は着実に増加しているが、平成24年3月1日現在、女性が最高裁判所の裁判官を務めた例はない。
- (5) 小・中学校においては女性教諭の割合が男性教諭の割合を上回っているが、高校においては男性教諭、短期大学においては男性教員の割合のほうが高い。

[No. 10] 次の室町時代から江戸時代にかけて発達した文化名を古い時代から順番に並べたとき、4番目になるものとして、妥当なのはどれか。

- (1) 化政文化
- (2) 桃山文化
- (3) 東山文化
- (4) 北山文化
- (5) 元禄文化

[No.1 1] 日露戦争の講和条約に関する記述中の空所A～Dに当てはまる語句の組合せとして、妥当なのはどれか。

アメリカ大統領（A）の斡旋により、アメリカのポーツマスで日露戦争の講和会議がひらかれた。日本全権（B）とロシア全権（C）が講和条約に調印したが、日本では賠償金がまったくとれないことに国民は不満をもち（D）がおこった。

	A	B	C	D
(1)	フランクリン＝ローズヴェルト	陸奥宗光	ハリス	日比谷焼き打ち事件
(2)	フランクリン＝ローズヴェルト	小村寿太郎	レザノフ	大津事件
(3)	セオドア＝ローズヴェルト	陸奥宗光	ハリス	日比谷焼き打ち事件
(4)	セオドア＝ローズヴェルト	小村寿太郎	ウィッテ	日比谷焼き打ち事件
(5)	フランクリン＝ローズヴェルト	伊藤博文	ウィッテ	大津事件

[No.1 2] ローマ帝国に関する記述として、妥当なのはどれか。

- (1) イタリア人の一派であるエトルリア人は都市国家ローマを建設した。
- (2) ローマは3次にわたるポエニ戦争をおこしてカルタゴをほろぼした。
- (3) グラックス兄弟は無産市民の土地を没収し大土地所有者を優遇した。
- (4) オクタウィアヌスはガリア戦争を勝利にみちびき独裁官に就任した。
- (5) カエサルとクレオパトラはアクティウムの海戦でエジプトを破った。

[No.1 3] 大航海時代に関する記述中の空所A～Cに当てはまる人物名の組合せとして、妥当なのはどれか。

ポルトガルの商人は15世紀初頭からアフリカ西岸の探検にのりだしていたが、「航海王子」（A）がこの事業をさらに推進し、ジョアン2世治世の1488年、（B）がアフリカ南端の喜望峰に達した。1498年には、（C）がインド西岸のカリカットに到達した。

	A	B	C
(1)	エンリケ	バルトロメウ＝ディアス	ヴァスコ＝ダ＝ガマ
(2)	マゼラン	ヴァスコ＝ダ＝ガマ	アメリゴ＝ヴェスプッチ
(3)	エンリケ	コロンブス	バルトロメウ＝ディアス
(4)	マゼラン	バルトロメウ＝ディアス	コロンブス
(5)	コロンブス	アメリゴ＝ヴェスプッチ	エンリケ

[No.1 4] 次の表は、ある農産物の収穫量とある水産物の漁獲量をあらわしたものであるが、次のA～Cに該当する農水産物の組合せとして、妥当なのはどれか。

A 平成 20 年			B 平成 21 年			C 平成 21 年		
順位	都道府県	単位：t	順位	都道府県	単位：t	順位	都道府県	単位：t
1位	青森県	14,300	1位	山梨県	50,600	1位	島根県	3,662
2位	香川県	731	2位	長野県	27,100	2位	青森県	2,786
3位	岩手県	467	3位	山形県	20,100	3位	茨城県	1,846
4位	徳島県	116	4位	岡山県	15,400	4位	北海道	1,498
5位	和歌山県	99	5位	福岡県	10,100	5位	愛知県	341
	全国	19,700		全国	202,200		全国	11,133

	A	B	C
(1)	にんにく	ぶどう	あさり
(2)	にんにく	ぶどう	しじみ
(3)	ぶどう	しじみ	もも
(4)	ぶどう	にんにく	しじみ
(5)	ぶどう	あさり	にんにく

[No.1 5] ケッペンの気候区分に関する記述として、妥当なのはどれか。

- (1) Afは一年中高温多雨多湿で気温の年較差に比べて日較差は小さい。
- (2) Amは総じて高温多雨多湿で1～3か月ほどの強い乾季がある。
- (3) Csは冬には貿易風帯に入り前線や低気圧の活動がにぶくなり乾季となる。
- (4) Cfaはモンスーンや熱帯収束帯によって夏は乾季となる。
- (5) Cfbは温帯の大陸西岸にみられる海洋性気候で冬は比較的温和である。

[No.1 6] インドの思想や文化に関する記述として、妥当なのはどれか。

- (1) インドの思想と文化の原型を形成したのは、紀元前 15 世紀ごろに、中央アジアからガンジス河畔に侵入したモンゴル人である。
- (2) 紀元前 10 世紀以降、カーストの最上位をしめたバラモンは、神々を祭るための複雑な儀式と難解な哲学をもち、地上の神として社会を支配した。
- (3) 紀元前 5 世紀にナーガールジュナによって開かれたジャイナ教は、徹底した苦行と不殺生を説き、商人階級に大きな影響をあたえた。
- (4) 紀元前 1 世紀ごろ起こった小乗仏教は、従来の部派仏教の教えを自己の解脱のみを考える自利であると批判し、仏陀の言行の精神は、すべてのものの解脱をめざす慈悲にあるとした。
- (5) 大乘仏教はスリランカや東南アジアに伝わり、上座部系の仏教はインドから北方に伝わり、1 世紀ごろには中国に、4 世紀には朝鮮に、6 世紀には日本に伝わった。

[No.1 7] 源氏物語に関する記述中の空所 A～C に当てはまる語句の組合せとして、妥当なのはどれか。

『源氏物語』は女流文学の中でも最も精彩を放っており、『竹取物語』『古今和歌集』『(A)』など、さまざまな先行文学の影響を受けながら、物語文学として完成された作品である。作者は、一条天皇の中宮彰子に仕えた (B) である。宮廷社会の人間模様を写実的に描き、人生の真実が追究されているが、その根底にあるのは「(C)」の情趣である。

- |     | A    | B    | C      |
|-----|------|------|--------|
| (1) | 伊勢物語 | 紫式部  | もののあはれ |
| (2) | 伊勢物語 | 清少納言 | もののあはれ |
| (3) | 伊勢物語 | 紫式部  | ますらをぶり |
| (4) | 平家物語 | 清少納言 | ますらをぶり |
| (5) | 平家物語 | 紫式部  | ますらをぶり |



[No.18] 四字熟語とその意味の組合せとして、妥当なのはどれか。

- (1) 無知蒙昧 — 無我の境地になること。
- (2) 杓子定規 — 几帳面な性格であること。
- (3) 虚心坦懐 — 落胆の様子が激しいこと。
- (4) 晴耕雨読 — 悠々自適の生活をおくること。
- (5) 百鬼夜行 — 神仏に対して恐れを抱くこと。

[No.19] 漢字の音と訓に関する記述中の空所A～Dに当てはまる語句の組合せとして、妥当なのはどれか。

漢字の読み方には音と訓のふたつがある。「音」とは中国から伝わった漢字の発音をまねて日本風にしたものであり、「訓」とは漢字の意味に日本語を当てたものである。「音」には長江下流地方の発音で仏典の読みに多い(A)、長安・洛陽地方の発音の(B)などがある。「訓」には漢字本来の意味にそのまま日本語を当てて訳をつけた(C)、個々の漢字の意味にこだわらないで熟語全体の意味によってつけた(D)などがある。

- |     | A  | B   | C  | D  |
|-----|----|-----|----|----|
| (1) | 呉音 | 漢音  | 義訓 | 正訓 |
| (2) | 呉音 | 漢音  | 正訓 | 義訓 |
| (3) | 漢音 | 呉音  | 義訓 | 正訓 |
| (4) | 漢音 | 慣用音 | 正訓 | 義訓 |
| (5) | 漢音 | 慣用音 | 義訓 | 正訓 |

[No.20] 凸レンズの前方 30 cm の光軸上の点 P に物体を置いたところ、凸レンズの後方の点 Q に倍率が 0.50 倍の倒立実像が生じたとき、レンズの焦点距離として、正しいのはどれか。

- (1) 8 cm
- (2) 10 cm
- (3) 12 cm
- (4) 15 cm
- (5) 30 cm

[No.2 1] カルボン酸の分類・名称・示性式の組合せとして、妥当なのはどれか。

	分類	名称	示性式
(1)	ヒドロキシ酸	パルミチン酸	$C_{15}H_{31}-COOH$
(2)	ジカルボン酸	シュウ酸	$CH_2=CH-COOH$
(3)	高級脂肪酸	乳酸	$CH_3-CH(OH)-COOH$
(4)	低級不飽和脂肪酸	アクリル酸	$HOOC-COOH$
(5)	低級飽和脂肪酸	プロピオン酸	$CH_3-CH_2-COOH$

[No.2 2] 魚類の浸透圧調節に関する記述として、妥当なのはどれか。

- (1) 海水生硬骨魚の体液の浸透圧は海水の浸透圧より高い。
- (2) 海水生硬骨魚は海水をほとんど飲まない。
- (3) 海水生硬骨魚とくらべて海水生軟骨魚の体液には尿素が多く含まれている。
- (4) 淡水魚は体液とほぼ等張の尿を多量に排出している。
- (5) 淡水魚は塩類をえらなどから能動的に排出している。

[No.2 3] 堆積岩の種類に関する次の表の空欄  ~  に当てはまる語句の組合せとして、妥当なのはどれか。

	堆積物	堆積岩
砕せつ物	泥 砂 れき	泥岩 砂岩 れき岩
溶けた物質	<input type="text" value="A"/> を主成分とするもの <input type="text" value="B"/> を主成分とするもの	<input type="text" value="C"/> <input type="text" value="D"/>
生物の殻など	紡錘虫やサンゴなど 放散虫などの殻	<input type="text" value="C"/> <input type="text" value="D"/>
火山砕せつ物	火山れきと火山岩片 火山灰	凝灰角れき岩など 凝灰岩

- |     | A        | B        | C    | D    |
|-----|----------|----------|------|------|
| (1) | $CaCO_3$ | $SiO_2$  | 石灰岩  | チャート |
| (2) | $CaCO_3$ | $NaCl$   | 石灰岩  | 石こう  |
| (3) | $SiO_2$  | $CaSO_4$ | 石こう  | チャート |
| (4) | $SiO_2$  | $CaSO_4$ | チャート | 石こう  |
| (5) | $NaCl$   | $CaCO_3$ | チャート | 石こう  |

[No.2 4] 次の英文の ( ) に入るものとして、最も妥当なのはどれか。  
I wish she ( ) the party yesterday.

- (1) has come
- (2) had come
- (3) was coming
- (4) can come
- (5) came to

[No.2 5] 次の英文の空所A～Eに共通して入る前置詞として、最も妥当なのはどれか。

I bought this car ( A ) one million yen.

My father looks young ( B ) his age.

She has to prepare ( C ) the entrance exam.

This book is not suitable ( D ) children.

He has lived in Paris ( E ) a long time.

- (1) on
- (2) by
- (3) with
- (4) for
- (5) of

[No.2 6] 次の英文の内容と合致するものとして、最も妥当なのはどれか。

In the early 1980s, I was freelancing\*<sup>1</sup> a lot in my spare time, principally for airline magazines. I got the idea to do an article on remarkable coincidences and sent off a query letter to one of these publications, which expressed serious interest and promised payment of \$500 if published—a sum of money I could very handily\*<sup>2</sup> have done with. But when I came to write the article, I realized that, although I had plenty of information about scientific studies into the probabilities of coincidence, I didn't have nearly enough examples of remarkable coincidences themselves to give the article sufficient zip\*<sup>3</sup> or to fill 1,500 words of space. So I wrote a letter to the magazine saying I wouldn't be able to deliver and left it on the top of my typewriter to post the next day. Then I dressed myself in respectable clothing and drove to work at *The Times*.

Now in those days, Philip Howard, the kindly literary editor (I would, of course, say that, in view of his position, but in fact it is true: he's a proper gent\*<sup>4</sup>), used to hold book sales for the staff a couple of times a year when his office became so filled with review copies\*<sup>5</sup> that he'd lost his desk. These were always exciting occasions because you could acquire stacks of books for practically nothing. He charged something like 25p\*<sup>6</sup> for hardbacks and 10p for paperbacks, and then passed the proceeds\*<sup>7</sup> to the Cirrhosis Foundation or some other charity dear to the hearts of journalists. On this particular day, I arrived at work to find a notice by the lifts\*<sup>8</sup> announcing a book sale at 4 p.m. It was 3.55, so I dumped my coat at my desk and eagerly hastened to his chamber. The place was already full of mingling\*<sup>9</sup> people. I stepped into the mêlée\*<sup>10</sup> and what should be the very first book my eyes fell on but a paperback called *Remarkable True Coincidences*. How's that for a remarkable true coincidence? But here's the uncanny\*<sup>11</sup> thing. I opened it up and found that not only did it offer all the material I could possibly need, but the very first coincidence it discussed concerned a man named Bryson.

[語義] freelance\*<sup>1</sup> フリーランスで働く／handily\*<sup>2</sup> 容易に／zip\*<sup>3</sup> 活力／  
proper gent\*<sup>4</sup> きちんとした紳士／review copy\*<sup>5</sup> 書評用の献本／  
25p\*<sup>6</sup> 25ペンス／proceeds\*<sup>7</sup> 利益／lift\*<sup>8</sup> エレベーター／  
mingling\*<sup>9</sup> 混ざり合った／mêlée\*<sup>10</sup> 乱闘／uncanny\*<sup>11</sup> 不思議な

- (1) 「偶然の出来事」の記事を書いてそれが掲載されれば、500ドルが支払われる約束になっていた。
- (2) 記事になりそうな具体例はたくさん見つかったが、裏付けとなる研究資料がそろっていなかった。
- (3) 1,500語の原稿と手紙を翌日に投函するつもりで、タイプライターの上に置いて出かけた。
- (4) フィリップはタダ同然で手に入れた本を高値で売り、その利益を慈善事業に寄付していた。
- (5) 本の即売会で昔書いた私の本が見つかり、直筆のサインも残っていた。

[No. 2 7] 次の英文の内容と合致するものとして、最も妥当なのはどれか。

The constant expansion of goods and services has become so basic to the American way of life that it is hard even to imagine what the consequences would be if Americans came to believe that it added little or nothing to their well-being. Economic growth is now the most influential single measure of our national vitality and progress. Quarterly reports on the changes in our Gross Domestic Product (GDP) are widely publicized\*<sup>1</sup> everywhere. The trends they record are the principal measure for comparing America's progress with that of other countries. The chairman of the Federal Reserve\*<sup>2</sup> periodically appears before Congressional committees\*<sup>3</sup> to report on the prospects for faster or slower growth. Policy proposals in Congress live or die on the basis of their estimated effects on the rate of economic expansion.

Much the same is true in other countries as well. Around the globe, as historian John R. McNeil has observed, "the overarching\*<sup>4</sup> priority of economic growth was easily the most important idea of the twentieth century." Even the Swedes, widely known for their "third way" of organizing society, grew restive\*<sup>5</sup> and dissatisfied when their economy slowed in the 1960s and '70s and per capita\*<sup>6</sup> income slipped from near the top of the Western European nations to slightly below the average.

For all its prominence, however, the primacy\*<sup>7</sup> of growth as a goal for government is a relatively recent phenomenon. In the United States, growth became the principal aim of economic policy only after World War II, replacing a longstanding preoccupation with taming the business cycle\*<sup>8</sup> and avoiding mass unemployment. As predictions of an immediate postwar recession proved unfounded\*<sup>9</sup>, doubts about the prospects for continuing prosperity gave way to optimism. In the late 1940s, under the chairmanship of Leon Keyserling, the Council of Economic Advisers\*<sup>10</sup> repeatedly emphasized growth in its annual reports on the economy. After President Eisenhower's more cautious economic policies, marked by an abiding\*<sup>11</sup> concern over inflation, John F. Kennedy made expansion an important part of his campaign to "get America moving again."

[語義] publicized\*<sup>1</sup> 公表する / Federal Reserve\*<sup>2</sup> 連邦準備制度理事会 /

Congressional committees\*<sup>3</sup> 米議会の委員会 / overarching\*<sup>4</sup> 最重要の /

restive\*<sup>5</sup> いらいらした / per capita\*<sup>6</sup> 一人当たりの / primacy\*<sup>7</sup> 優位性 /

business cycle\*<sup>8</sup> 景気循環 / unfounded\*<sup>9</sup> 根拠のない /

Council of Economic Advisers\*<sup>10</sup> 大統領経済諮問委員会 / abiding\*<sup>11</sup> 持続的な

- (1) 財とサービスの生産拡大がアメリカ人の幸福を支えているというのは、想像し難いことである。
- (2) GDPの四半期報告は、アメリカと他国との経済成長を比較するための十分な尺度とはいえない。
- (3) スウェーデンでは1960～70年代に経済が停滞したため、「第三の道」で経済成長を目指した。
- (4) 第二次大戦後のアメリカでは、景気循環抑制や失業回避と共に、経済成長が主要目標とされた。
- (5) インフレを警戒していたアイゼンハワーとは異なり、ケネディは経済の拡大を重視した。

[No.28] 次の文章中の空欄 ア イ ウ に当てはまる内容の組合せとして、最も妥当なのはどれか。

「笑う」と「泣く」とではまるで意味が違う。「笑っている」と「泣いている」も反対の意味だ。が、共通点もある。「笑う」や「泣く」がそれらの行為がまだ起こっていないことを、あるいは、そういう習慣や傾向のあることを意味するのに対して、「笑っている」や「泣いている」という形は、それぞれの行為がすでに実現し、今そういう状態にあることを意味する点で共通する。「笑った」と「泣いた」とも別々の意味だが、過去や完了をあらわす点は共通する。「笑わせる」と「泣かせる」とには使役、「笑われる」と「泣かれる」とには受身や軽い尊敬、まれに自発の意味合いになるという共通点がある。「笑わない」と「泣かない」という組み合わせでも、まったく違う意味ながら、ともに打消であるという共通点のあることは同様だ。

このような機能上の共通点をも意味の一種であると考え、それを《文法的意味》とよぶことがある。「を」「も」「ので」「ね」といった助詞や、「れる」「らしい」「だろう」「ます」といった助動詞は、ことばがさす対象が現実存在せず、それぞれの機能をはたすだけだから、もっぱらこういう文法的意味だけをそなえていることになる。「それから」「しかし」「だから」「さて」といった接続詞もそれに準ずる。

一方、「笑う」「笑っている」「笑った」などに共通する意味、「泣かせる」「泣かれる」「泣かない」などに共通する意味に注目することも当然ある。むしろそれが、ふつうにいう意味での意味だ。それを文法的意味に対立するものとしてとらえる場合は、特に《語彙的意味》とよぶ。

ところで、「笑った」ということばは「笑っている」と「泣いた」とどちらに意味が近いのだろうか。常識的な感覚では明らかに ア に近い。が、語学的には、語彙的意味としては「イ」に近く、機能を問題にする文法的意味としては「ウ」と共通する、と考えるほうが正確だといえるだろう。

- |     | ア  | イ     | ウ     |
|-----|----|-------|-------|
| (1) | 前者 | 泣いた   | 笑っている |
| (2) | 前者 | 笑っている | 泣いた   |
| (3) | 後者 | 泣いた   | 笑っている |
| (4) | 後者 | 笑っている | 泣いた   |
| (5) | 後者 | 泣かない  | 笑っている |

[No.29] 次の文章を先頭に置き、その後続くA～Dの文章を並べかえて意味の通る文章にしたとき、その順番として最も妥当なのはどれか。

例えば、今ここで、自分の右手と左手のひらを、大きく広げてぴったりとくっつけてみたとする。そうすると、もちろん右手と左手は「触れている」ことになる。しかし、これはどちらがどちらに触れているのだろうか。右手？ あるいは左手？ これが、「どちらが主体となっても客体となっても構わない」という感覚である。

- A そうすると「どちらが主体となっても客体となっても構わない」感覚はそのままで、けれども「確かに今ここに相手がいる」ということを、ものすごくよく実感しているはずである。わたしたちが言葉を介さずとも、人の手のぬくもりのなかにその人のやさしさやきびしさを感じとったり、体を抱きしめることでその人の愛や人格を感じることができるのも、こうした「触れる」ことによる他者了解の直接的な作用が基盤をなしているからであろう。
- B つまり、相手とは「他者」のことであるから、「他者」というものを、なんの準備も、そして言葉やジェスチャーなどなんの道具も必要なしで、「触れる」ことから直接そのままに理解しているのである。右手と左手を合わすのをやめて、他の人と握手してみたとする。
- C 反対に触れること以外で「他者」を理解するのは、結構、骨の折れることだ。言葉をどれほど紡がれても、「他者」を理解できないことがある。また「他者」が確かにいる、という実感を持つのも、見たり、聞いたりしているだけでは、なかなかむずかしいことである。
- D 触れる、とはこういう特別な感覚なのだ。ただ、右手と左手を合わせたとき、どちらがどちらに触れているかはもちろん構わないのだけれども、ひとつだけはっきりしていることがある。それは「確かに相手（右手に対してならば左手、左手に対してならば右手）がある」と、深く実感できていることである。

- (1) B - A - C - D  
(2) C - B - D - A  
(3) C - D - B - A  
(4) D - A - B - C  
(5) D - B - A - C

[No.30] 次の文章の要旨として、最も妥当なのはどれか。

今日の私たちの子育てにおいては、脱身体的な自由を手に入れたために、他の動物のように、身体性が関係作りの絶対的な枠組となりにくくなってしまっている。身体性からの脱却は私たちの子育ての選択に大いなる自由をもたらしてくれたが、それは同時に、進化の過程で親子の間に作られてきた身体関係という枠組に身を委ねて、どのように子育てのスタイルを選択していけばよいかをその枠組に導いてもらう、という大らかさを失ったことを意味する。

ある意味において子どもは、養育者がどれほど資源を自分に振り向けてくれるかを絶えず瀬踏み<sup>※1</sup>してくる存在である。親は、子どもがどれほど資源を必要とし、それを自身がどの程度カバーしてやらねばならないかを知りえず、また子どもも親がどの程度まで資源を自分に降り注いでくれるかの限界を知らない。子どもからの瀬踏みは、その限界を知るための手段なのである。また親からの拒否や反発性にも、子どもがどこまで自律的にやっていたいけるのかをチェックするという意味がある。いわば親子で虚々実々の駆け引きを行うのであるが、他の動物と異なりヒトの場合には、子どもを他者に委ねたり、あるいは育児具・玩具を与えたりと、親が与える養育の負担を軽減させるオプションがきわめて多様である。私たちは、ヒトとモノによる社会システムをそれぞれの文化のなかで構築し、そこで育児を行っている。

その点で大切なことは、用意される制度がどの程度、親子双方の身体と心理に適合しているかということであろう。たとえば公的な子育て支援制度としては、「育児教室」のような場がある。それは少子化にともなう子育ての貧困な状況を補う可能性のあるシチュエーションであり、そこで母親と子どもはそれぞれ仲間に出会い、また情報やサポートをえる。しかしながら同時に、下手をすると「専門家」の指導を仰ぐということで親と子どもの主体性がそがれ、自らを主役として子育てを乗り切ろうとする覚悟を損ね、権威への依存性を増大させることに作用しかねない。それを避ける一つの道は、親たちを出会わせずにはおかない子どもどうしの求心力である。ここでも、子どもがもつ素晴らしいパワーを大人が借りる必要がある。

[注] 瀬踏み<sup>※1</sup> 物事を行う前にちょっと試してみること。

- (1) 「育児教室」のような場では、母親と子どもはそれぞれ仲間に出会い、情報やサポートをえられるので、公的な子育て支援制度の枠組に導いてもらうという大らかさを得ることができる。
- (2) 他の動物と異なりヒトの場合には、親が与える養育の負担を軽減させるオプションがきわめて多様であり、私たちはモノによる社会システムだけを構築し、そこで育児を行うようになった。
- (3) 今日の子育てでは、脱身体的な自由をえたため、身体性が関係作りの絶対的な枠組となりにくく、親子の主体性がそがれかねないが、それを避ける一つの道は、子どもどうしの求心力である。
- (4) 親は、子どもがどれほど資源を必要とするかを知っているが、子どもは、親がどの程度まで資源を自分に与えてくれるかを知らないので、その限界を知るために絶えず瀬踏みをしてくる。
- (5) 身体性からの脱却は、私たちの子育ての選択に大いなる自由をもたらしたが、専門家の指導を仰ぐことによる権威への依存性が増大し、親子で虚々実々の駆け引きを行わざるを得なくなった。



[No.3 1] 次の文章の要旨として、最も妥当なのはどれか。

いわゆる物理的アプローチとは、対象をおおまかに捉えて単純な要素に還元してモデル化し、そのモデルを解くことで最終的に対象全体を理解する、ということになるのだろう。

近代科学はこのような「要素還元主義」のもとで発展をとげてきたことはいうまでもない。デカルトのいう合理論の精神に基づいて、「困難は分割せよ」の号令とともに歩んできた。複雑な現象もその要素にバラバラに分割し、各々の要素を解析することで、あとは結果を積み木のように組み合わせれば全体像を理解できると信じられてきた。これは今でもほとんどの科学の方法論の基礎になっている。科学者は要素還元主義があまりにも当たり前になっているため、無意識のうちにこのような方法で研究をする。

しかしここで問題がある。果たして全体は部分の集まりなのだろうか。もしも全体が部分の単純な和になっているならば、生物と機械の差とは何だろうか。胃や腸や肺などをどんどんくっつけてゆけば人間ができるのだろうか。こういったことを考えると、やはり部分の集まりと全体は異なるといわざるを得ない。部分同士が相互作用をしているならば、全体は単なる部分の和にならないと考えてよいだろう。この意味では、逆に相互作用をしていない要素に全体をうまく分割することができれば、その要素のみを扱って全体を理解することは可能だろう。互いに独立な部分の集合の場合のみ、全体はその部分の単なる和になる。

それでは相互作用がゼロでなくても、ある程度弱ければ、そこで全体を分けて考えることはできるのだろうか。これはうまく分ければ可能だと考えられている。このような考えが複雑系<sup>1</sup>の研究の基盤の一つにあり、複雑な対象を相互作用のほとんどない要素にうまく分割して単純化することが成功の秘訣だ。こうして現象に最も効いてくる効果のみをうまく取り出して要素還元したモデルは、たとえ単純であっても複雑な現実の大まかな姿を捉えることができるのだ。

[注] 複雑系<sup>1</sup> 一つの原因に対する一つの結果という単純な関係ではなく、多くの要素がからみ合い干渉し合って成り立つ体系として物事をとらえる考え方。

- (1) 要素還元主義には問題があるが、対象を相互作用のほとんどない要素に分割し、現象に最も効いてくる効果のみで要素還元したモデルは、複雑な現実の大まかな姿を捉えることができる。
- (2) 部分の集まりと全体は異なるといわざるを得ないが、全体から相互作用をしていない要素だけを除外することができれば、全体は残った部分の単なる和になる。
- (3) 科学者にとって要素還元主義はあまりにも当たり前のものなので、もしも全体が部分の単純な和になっているならば生物と機械の差とは何だろうか、無意識のうちに考えながら研究をする。
- (4) たとえ複雑な現象であっても、要素に分割したうえで各々の要素を解析し、その結果を積み木のように組み合わせることによって全体像を理解できる。
- (5) 全体を分割した要素同士が相互作用をしているならば、その要素のみを扱って全体を理解することが可能なので、近代科学は要素還元主義のもとで発展をとげてきた。

[No.3 2] 次の文章の内容と一致するものとして、最も妥当なのはどれか。

ネチケットが最初に提唱されたのは1996年のことです。(中略) 少しでもインターネットでのコミュニケーションを円滑にするために考え出されたのがネチケットでした。

ネチケットには様々な決まりことが記されています。しかし、ネチケットは法律や規則ではありませんから、ネチケットに記されていることがらを守るよう強要されるような法的な拘束力が存在するわけではありません。あくまでもインターネットに接続しているすべての利用者が気持ち良くネット上でのコミュニケーションを行えるように、善意で守ることが求められている規範でしかありません。

インターネットを利用する際にはネチケット以外にも法律をはじめとした守るべきルールが存在しています。たとえば、ネチケットと同じように法的な拘束力のないルールとしては、ネットワークを管理する組織がその構成員に対して定めたルールである規則や、インターネット接続サービスを提供する企業がその利用者に対して定めたルールである利用規約などがあります。利用規約などはネチケットと同様に法的な拘束力を後ろ盾にした強制力のあるルールではありませんが、それでも規約を守らない場合にはサービスの利用を停止するなどの罰則が適用されることもありえます。そのため、利用規約はネチケットと比べると、より強く利用者に遵守が求められるルールといえるでしょう。

また同様に、情報倫理をはじめとする倫理観もインターネットでのコミュニケーションの際に必要なマナーやモラルと関連のあることがらです。ですが倫理は明文化されたルールではなく利用者自身が自分で善悪を判断する際の基準ですから、何かの行為を行う際にそれをするべきか、しないでおくべきかという判断は利用者自身の意志に任される形となります。

ネチケットはちょうど利用規約と倫理の中間に位置するような決まり事であるといえます。ネチケットは利用規約ほど厳密に明文化されたルールではありませんし、罰則も存在しません。しかし、ネチケットにはこうするべきである、という礼儀作法が明示されていますから、倫理のように個人で行いの善悪をすべて判断するわけでもありません。

- (1) 情報倫理をはじめとする倫理観は、明文化されたルールなので、インターネットで何かの行為を行う際の善悪の判断は利用者自身の意志に任される形となる。
- (2) ネチケットは、利用規約と同じように、法的な拘束力のあるルールであり、実行すべき礼儀作法が明示されているので、倫理のように個人で行いの善悪をすべて判断するわけではない。
- (3) ネチケットほど厳密に明文化されておらず罰則も存在しないものに、インターネット接続サービスを提供する企業が定めた利用規約がある。
- (4) 様々な決まりことが記されているネチケットは、インターネットに接続しているすべての利用者が気持ち良くネット上でのコミュニケーションを行えるように、善意で守ることが求められている規範である。
- (5) ネットワークを管理する組織がその構成員に対して定めたルールである規則は、守らない場合には罰則が適用されることもありえるため、利用規約よりも強く利用者に遵守が求められるルールといえる。

[No.33] 次の文章の内容と一致するものとして、最も妥当なのはどれか。

まえに、「方向というものは、座標系が決まって、はじめて決まるものなのだ」と述べた。では、「右手」「左手」というときの「右」や「左」は、どのような座標系にもとづいて判断した「右」「左」なのだろうか？

その手や足、眼や耳をもっている、当の本人の身体枠<sup>※1</sup>にほかならない。たとえば、わたくしの「右耳」は、わたくし自身の身体枠にもとづいて判断した「右」のほうにある耳のことなのである。

この方向の決めかたは、たいへん合理的だといっていいだろう。というのは、これなら、「右耳」「左耳」がいつもおなじ耳をさすことになるからである。

もし、「右耳」や「左耳」の持ち主の身体枠ではなく、だれの身体枠を使ってもいい、ということにしたらどうということになるだろう？

たとえば、耳鼻科の医師が患者と向かいあっている場面を想像してみよう。患者は「右の耳がよく聞こえない」といっている。医師が、自分の身体枠にもとづいて、どちらが「右」かを判断し、その「右」にあるほうの耳を調べようとしたら……ちゃんと聞こえるほうの耳を調べることになってしまう。(中略)

こんな間違いをしでかさずに、正常な社会生活をおくるためには、社会的慣習をしっかりと学習しておかなければならない。すなわち、両耳、両手などを区別するために「右」「左」という言葉を使うときには、その耳や手をもっている本人の身体枠にもとづいて左右を判断する——そういう習慣が身につけていなければならないのである。

じっさい、おとなになれば、だれもが、とくに意識しなくても、そうした判断ができるようになっていく。いわれてみるまでは、自分の手足をさすときには自分の身体枠を使い、他人の手足をさすときにはそのひとの身体枠を使っていることなど、気づいていないひとが大多数だろう。それぐらい、この判断のやりかたは、しっかりと身につけていて、自動的にできるようになっているのである。

自動的にになっているので、鏡のなかにひとの姿を見たときにも、おなじやりかたで手足の左右を判断してしまうことになる。つまり、鏡像の視点と一致する仮想枠をもとにして判断をする。その結果、「左右が逆になっている」と感じるようになるのである。

[注] 身体枠<sup>※1</sup> 自分の身体と一体になった座標系のこと。

- (1) 両耳、両手などを区別するために「右」「左」という言葉を使うときには、常に自分の身体枠にもとづいて左右を判断する習慣が身につけている必要がある。
- (2) わたくしの「右耳」とは、自分の身体枠により判断した「右」のほうにある耳のことだが、患者として医師と向きあっている際には、医師の身体枠にもとづいて「左耳」というべきである。
- (3) 鏡にうつった姿に対しても、自動的に鏡像の視点と一致する仮想枠をもとにして手足の左右を判断するので、その結果、「左右が逆になっている」と感じるようになる。
- (4) 自分の手足をさすときには自分の身体枠を使い、他人の手足をさすときにはそのひとの身体枠を使うということを、おとなになっても実行していないひとが大多数である。
- (5) 「右」や「左」をどの座標系にもとづいて判断するかは、地域や文化によって異なるので、その地域の社会的慣習をしっかりと学習しておかなければならない。

[No.3 4] ある大学の学生 100 人を対象に話すことができる外国語を調査したところ、次のア～エのことが分かった。

ア 英語またはフランス語を話すことができる学生は 84 人である。

イ 英語またはドイツ語を話すことができる学生は 72 人である。

ウ フランス語とドイツ語の両方を話すことができる学生はいない。

エ フランス語のみを話すことができる学生は 26 人である。

このとき、英語、フランス語、ドイツ語のいずれも話すことができない学生の人数として、正しいのはどれか。

- (1) 2人
- (2) 3人
- (3) 4人
- (4) 5人
- (5) 6人

[No.3 5] A～Dの4人の体重について、AとBの体重の和はCとDの体重の和よりも重く、AとCの体重の和はBとDの体重の和より重く、また、AとDの体重の和はBとCの体重の和に等しいことが分かっている。4人の体重の大小関係が確定するために比較しなければならない者の組合せとして、正しいのはどれか。

- (1) AとB
- (2) AとC
- (3) BとC
- (4) BとD
- (5) CとD

[No.3 6] ある地域のサッカー大会において、全チーム1回ずつの総当たり戦により優勝チームを決定しようとしたところ、2チームが出場を辞退したため、予定していた試合数よりも 29 試合少なくなってしまった。予定していた参加チームの数として、正しいのはどれか。

- (1) 12チーム
- (2) 14チーム
- (3) 16チーム
- (4) 18チーム
- (5) 20チーム

[No.37] A～Eの5人は、読書、散歩、釣り、サッカーのいずれか2つを趣味にしている。次のア～オのことが分かっているとき、確実に言えるのはどれか。

ア AとBには共通する趣味はない。

イ CとEには共通する趣味はない。

ウ 釣りを趣味にしている者、サッカーを趣味にしている者はそれぞれ2人ずついる。

エ Aは読書を、Bは釣りを、Eは散歩を趣味にしている。

オ 趣味が同じ組合せの者はいない。

- (1) Aの趣味は読書と散歩である。
- (2) Bの趣味は釣りとサッカーである。
- (3) Cの趣味は読書と釣りである。
- (4) Dの趣味は読書とサッカーである。
- (5) Eの趣味は散歩と釣りである。

[No.38] A、B、Cがマラソンを行い、その結果について次のア～オの5つの証言があった。このうち、正しい証言が1つしかなく、残りの4つの証言は誤っていることが分かっているとき、確実に言えるのはどれか。ただし、同順位の者はおらず、証言中の人物については誤っていない。

ア Aは1位ではなかった。

イ Aは2位ではなかった。

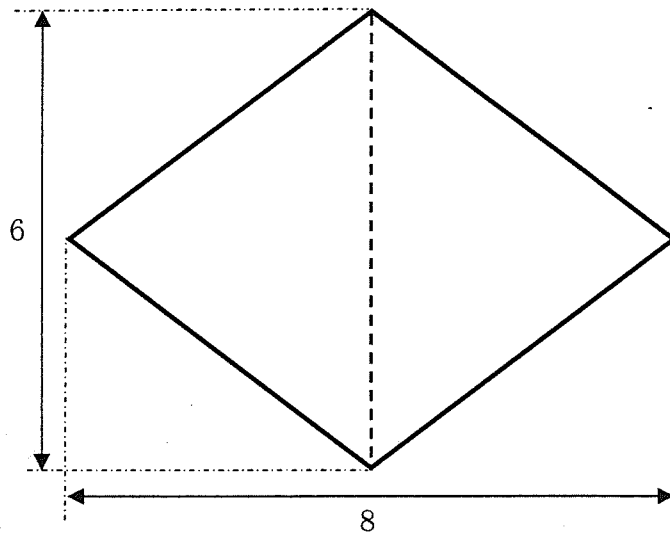
ウ Bは1位だった。

エ Bは2位だった。

オ Cは1位ではなかった。

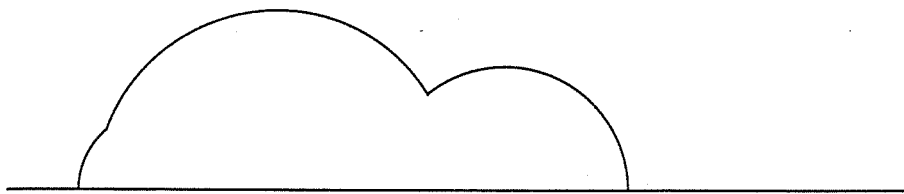
- (1) Aは1位だった。
- (2) Bは1位だった。
- (3) Bは2位だった。
- (4) Cは1位だった。
- (5) Cは3位だった。

[No. 3 9] 次の図のようなひし形の紙が2枚ある。それぞれを点線部分で折り曲げ、ひし形の辺どうしを接合させて四面体をつくったとき、その体積として正しいのはどれか。

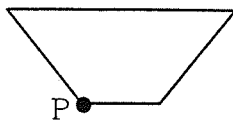


- (1)  $6\sqrt{7}$
- (2) 16
- (3)  $7\sqrt{6}$
- (4) 18
- (5)  $7\sqrt{7}$

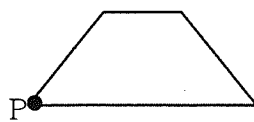
[No. 4 0] 次の図は、ある多角形が直線上を滑ることなく1回転したときに、多角形上の点Pが描いた軌跡である。この軌跡を描く多角形と点Pの位置として、妥当なのはどれか。



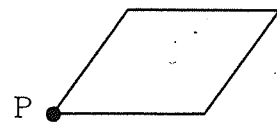
(1)



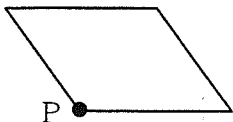
(2)



(3)



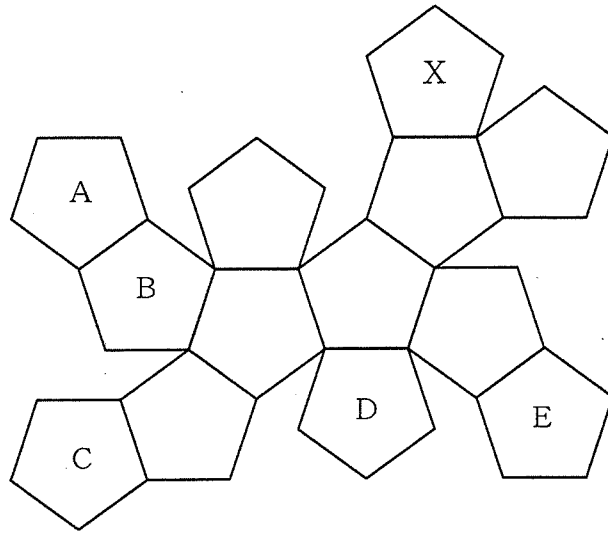
(4)



(5)



[No.4 1] 次の図は正五角形 13 枚を用いて作ったものである。これを山折りに組み立てて正十二面体を作るとき、面Xと重なる面として、正しいのはどれか。

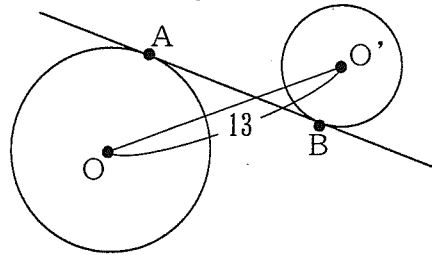


- (1) A
- (2) B
- (3) C
- (4) D
- (5) E

[No.4 2] トランプのダイヤのカードが3枚とスペードのカードが2枚ある。この5枚のカードをよくきって、同時に2枚のカードを取り出すとき、1枚はダイヤのカードで1枚はスペードのカードとなる確率として、正しいのはどれか。

- (1)  $\frac{3}{10}$
- (2)  $\frac{2}{5}$
- (3)  $\frac{1}{2}$
- (4)  $\frac{3}{5}$
- (5)  $\frac{7}{10}$

- [No.4 3] 半径6の円の中心Oと半径3の円の中心O'が図のような位置にある。OO' = 13であり、直線ABは2つの円の共通接線で、A、Bは接点である。線分ABの長さとして、正しいのはどれか。



- (1)  $3\sqrt{3}$   
 (2)  $3\sqrt{6}$   
 (3)  $\sqrt{87}$   
 (4)  $2\sqrt{22}$   
 (5) 12
- [No.4 4] ある都市の家庭における1か月のガス料金は、使用しなくても支払う一定額の基本料金と、使用量に応じて支払う従量料金の合計である。1か月の使用量が  $27\text{m}^3$  のときのガス料金は4,710円であり、使用量が  $41\text{m}^3$  のときのガス料金は6,530円であった。1か月の基本料金として、正しいのはどれか。ただし、料金には消費税が含まれているものとする。

- (1) 1,100円  
 (2) 1,200円  
 (3) 1,300円  
 (4) 1,400円  
 (5) 1,500円

- [No.4 5] 次のような一定の規則に従った数列がある。この数列の20番目の値として、正しいのはどれか。

0, 2, 6, 12, 20, ……

- (1) 306  
 (2) 324  
 (3) 342  
 (4) 380  
 (5) 420



[No.4 6] ある人が買い物をした。最初に手持ちの金額の $\frac{2}{5}$ を使い、次に残りの金額の $\frac{1}{3}$ を使い、さらに最初の手持ちの金額の $\frac{1}{10}$ を使い、最後に残りの金額の $\frac{5}{8}$ を使ったところ、630 円の残金があった。この人の最初の手持ちの金額として、正しいのはどれか。

- (1) 3,500 円
- (2) 4,700 円
- (3) 5,600 円
- (4) 6,800 円
- (5) 7,700 円

[No.4 7] 0、4、6、10 のいずれかの数字を記入したカードがたくさん袋に入っている。この袋の中から40人の生徒が1人1枚ずつカードを取り出したところ、0を記入したカードを取り出した生徒は6人、10を記入したカードを取り出した生徒は12人であった。また、取り出した40枚のカードの数字の平均は5.6であった。このとき、4を記入したカードを取り出した生徒の人数として、正しいのはどれか。

- (1) 12人
- (2) 13人
- (3) 14人
- (4) 15人
- (5) 16人

[No.4 8] 792の正の約数の個数として、正しいのはどれか。

- (1) 15個
- (2) 16個
- (3) 20個
- (4) 24個
- (5) 30個

[No.49] 次の表は、東京都の空き家の戸数の推移をまとめたものである。この表から正しく言えるのはどれか。

東京都の空き家の戸数の推移

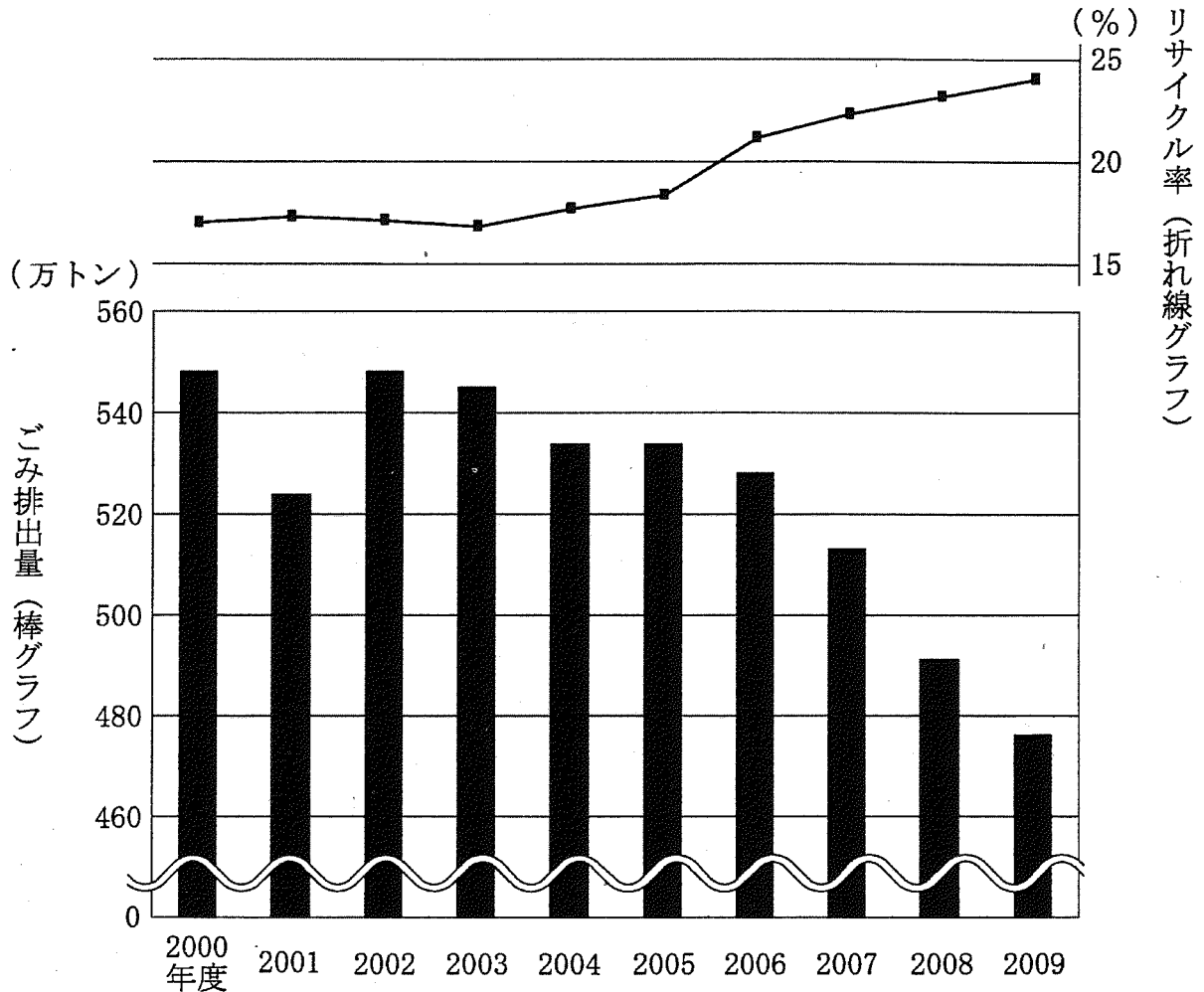
(単位：百戸)

	総数	一戸建		長屋建		共同住宅		その他
		木造	非木造	木造	非木造	木造	非木造	
1998年	6,245	672	38	146	38	1,906	3,400	45
2003年	6,654	817	56	109	26	1,604	4,013	29
2008年	7,504	928	76	110	18	1,580	4,752	40

- (1) 1998年に対する2003年の空き家の「総数」の増加率も、2003年に対する2008年のそれも、10%未満である。
- (2) 1998年に対する2003年の「木造」の「共同住宅」の空き家の戸数の減少率も、2003年に対する2008年のそれも、10%を超えている。
- (3) 表中のどの年においても、「一戸建」の空き家の戸数は、「総数」の15%未満である。
- (4) 表中のどの年においても、「長屋建」の空き家の戸数は、「共同住宅」の空き家の戸数の2%未満である。
- (5) 表中のどの年においても、「共同住宅」の空き家の戸数は、「総数」の90%を超えている。

[No.50] 次の図は、東京都のごみ排出量とリサイクル率をまとめたものである。この図から言えることとして妥当なのはどれか。

東京都のごみ排出量とリサイクル率



- (1) 図中の10年のごみ排出量の年度平均は、約525万トンである。
- (2) 前年度と比べてごみ排出量が減った年度は、リサイクル率が増えている。
- (3) 2009年度のごみ排出量は、2000～2008年度の平均の、半分以下である。
- (4) 2006～2009年度はいずれも、ごみ排出量の対前年度減少率が3%未満である。
- (5) 2005年度以後で、前年度と比べてごみ排出量が最も大きく減った年度に、リサイクル率が最も大きく増えている。

【出典一覧】

- [No.26] Bill Bryson 「Notes from a small island」
- [No.27] Derek Bok 「The politics of happiness」
- [No.28] 中村 明 「日本語のコツ」
- [No.29] 松田恵示 「おもちゃと遊びのリアル」
- [No.30] 根ヶ山光一 「〈子別れ〉としての子育て」
- [No.31] 西成活裕 「渋滞学」
- [No.32] 鞆 大輔 「学生時代に学びたい情報倫理」
- [No.33] 高野陽太郎 「鏡の中のミステリー」

# 警察官 ( I 類 ) 論文試験

平成 25 年 1 月 13 日 ( 日 ) 実施

## 【注意事項】

- 1 字数は 1,000 字程度、時間は 1 時間 20 分です。
- 2 答案用紙の所定欄に、該当する受付番号を記入しマークしてください。右上部の※欄、及びマーク欄には何も記入しないでください。
- 3 課題欄には、必ず下記の課題を記入してください。
- 4 答案用紙は横書きとし、枠外及びその他余白には何も記入しないでください。
- 5 メモをしたい場合には、この用紙の余白及び裏面を使ってください。
- 6 この用紙は、持ち帰ることができます。

～ 本試験課題の無断転載及び複製を一切禁止します。 ～

## 【課題】

自らを高めるために行っていることを具体的に述べ、警視庁警察官としての決意に及びなさい。

# 警察官 (I 類) 国語試験問題

平成25年1月13日(日)実施

## 【注意】

- 1 試験時間は20分です。
- 2 くずし字や乱雑な字は採点の対象とならないので、楷書で丁寧に記入してください。また、旧字体や略字は、誤答となります。
- 3 試験終了後、この問題用紙は持ち帰ることができます。

- 1 次の( )内の漢字の読みをひらがなで書きなさい。(30問)      2 次の( )内のひらがなを漢字で書きなさい。(30問)

- |                    |                         |
|--------------------|-------------------------|
| (1) 人生を(享樂)する      | (1) 山椒は(こつぶ)でもぴりりと辛い    |
| (2) (芋蔓式)に検挙する     | (2) (たわら)に足が掛かる         |
| (3) (臆病)な性質        | (3) (がんぷく)を得る           |
| (4) 両者(角逐)の状態      | (4) 断崖(ぜっぺき)            |
| (5) (凡例)に従う        | (5) ヨーロッパ諸国を(れきほう)する    |
| (6) (裂帛)の気合        | (6) 損害(ばいしょう)           |
| (7) (危篤)に陥る        | (7) 需要と(きょうきゅう)         |
| (8) (洒脱)な人柄        | (8) (ずいそう)録             |
| (9) (暗澹)たる雲行き      | (9) (ごうかい)に飲む           |
| (10) (斯界)の権威       | (10) 住宅が(みっしゅう)する       |
| (11) 銅のさびは(緑青)     | (11) 裁判所の(ほうてい)で証言する    |
| (12) (贅沢)な生活       | (12) 役員を(こうてつ)する        |
| (13) 色が(褪)せる       | (13) 的を(ねら)う            |
| (14) 巨万の富を(擁)する    | (14) 新宿駅を(けいゆ)して東京駅に向かう |
| (15) (譜面)台         | (15) 学費免除の(おんてん)        |
| (16) (煩瑣)な手続き      | (16) (つうしんもう)が発達する      |
| (17) 船の(操舵)室       | (17) (きょうい)的な記録         |
| (18) 周章(狼狽)        | (18) (もけい)飛行機           |
| (19) 生まれた年に(因)んだ名前 | (19) 公園の(ふんすい)          |
| (20) (急遽)帰国する      | (20) (とうてつ)した洞察力        |
| (21) (閑話)休題        | (21) 無礼な態度に(げきど)する      |
| (22) 虎の(咆哮)        | (22) 哺乳瓶を(ねっとう)消毒する     |
| (23) 流血の(惨事)       | (23) 申請を(きゃっか)する        |
| (24) 感涙に(噎)ぶ       | (24) 注意力が(さんまん)だ        |
| (25) 開店の準備に(大童)する  | (25) ぶどう(かじゅう)入りのジュース   |
| (26) (叱責)を受ける      | (26) (とうげい)家            |
| (27) (礎石)を据える      | (27) (かくちょう)高い名作        |
| (28) (暫定)予算        | (28) (かいぎ)日蝕            |
| (29) (悲壮)な決意       | (29) 綿とナイロンの(こんぼう)糸     |
| (30) (冴)えた答弁       | (30) (ちゃわん)蒸しを食べる       |

平成24年度 警視庁男性警察官第3回(Ⅰ・Ⅱ類)採用試験

第1次試験 教養試験

正 答

試験実施日 平成25年1月13日(日)

試験区分 男性警察官(Ⅰ・Ⅱ類)

正答の掲載期間 1月16日(水)から1月22日(火)まで

※この正答は、警視庁情報公開センター及び都庁都民情報ルームでも閲覧することができます。

Ⅰ類 教養試験 正答 五枝択一式・50題解答・2時間

1 は問題番号、(1) は正答の番号を表す。

1 (2)	2 (2)	3 (1)	4 (2)	5 (3)	6 (3)	7 (2)	8 (4)	9 (3)	10 (5)
11 (4)	12 (2)	13 (1)	14 (2)	15 (5)	16 (2)	17 (1)	18 (4)	19 (2)	20 (2)
21 (5)	22 (3)	23 (1)	24 (2)	25 (4)	26 (1)	27 (5)	28 (2)	29 (5)	30 (3)
31 (1)	32 (4)	33 (3)	34 (1)	35 (3)	36 (3)	37 (3)	38 (4)	39 (1)	40 (1)
41 (1)	42 (4)	43 (4)	44 (2)	45 (4)	46 (3)	47 (3)	48 (4)	49 (3)	50 (1)